

# 智頭往来

文化庁選定「歴史の道百選」  
「夢街道ルネサンス」モデル地区

歩いてみたい歩いてみたい「遊歩百選」選定  
日本の百力所  
坂峠を越える道は、峠までの里程十里八町四十九間（約四十一・一km）と「因幡誌」は記している。参勤交代の大名行列が旅をする場合、鳥取を出て智頭で一泊し、峠を越すには日半ほどどの行程であった。志戸坂峠を越えて大原（岡山県）・佐用（兵庫県）から姫路に通じ、大阪・京都への主要道であったから近世には「上方往来」又は「京街道」とか、岡山県側では「因幡街道」など多くの呼び名があった。明治以降の書物は、この道を「智頭街道」、「智頭往来」としており、「鳥取県歴史の道調査報告書第一集」では「智頭往来」としている。享保十一年（1726）、佐藤長通が調査した「因幡国大道筋里数」によると、道幅は今日に比較して非常に狭く、最大で六m。鳥取から遠ざかるにつれて狭まり、八上郡に入るとき約四・五m、高津原（河原町）以南では約二・七m、智頭宿以南は約一mの広さであった。平成八年文化庁によって「歴史の道百選」に選定された区間は、智頭町大字市瀬「篠ヶホキ」から岡山県英田郡西粟倉村坂根まで、志戸坂峠越えの古道約二十一kmである。



# 智頭往来

因幡美作国境の志戸坂峠を越える道は、奈良時代以前から、畿内と因幡地方を結ぶ主要な道でした。近世に至つて鳥取藩は江戸幕府にならい、宿駅を定め、智頭往来を重視しました。それはこの道が参勤交代の道であつたからです。鳥取藩では初代藩主池田光仲が慶安元年(1648)に正式に初入国してより、二代池田慶徳に至る一百四十年間に、百七八回往復しています。参勤交代は鳥取出発の場合、智頭宿に泊り、一日めは駒帰・大原を経て平福(兵庫県佐用町)泊りでした。

智頭往来は、近世までは上方への主要道として重要な位置を保ち続けましたが、明治になると政府と県は、智頭往来に代わって、京・大阪に近い若桜の戸倉越えの道を重視し始め、この街道は重要性を次第に低下させていきました。その間、智頭往来は明治十九年の大改修によって道筋が大きく変わり、昭和四十年代の国道昇格によつてさらに改修されていきましたが、昔の面影を残す往来は次の六か所に見られます。

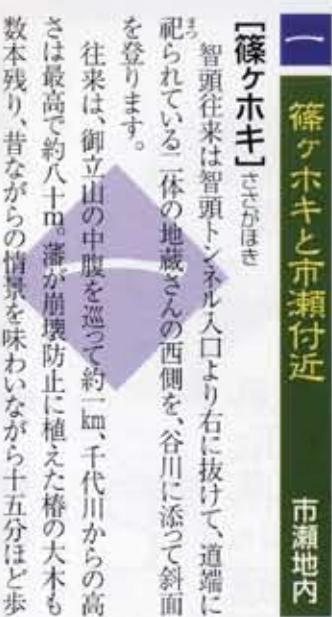
忘れられていますが、往時は往来の智頭宿入り口であつたことを物語っています。

## 【智頭宿】

智頭宿の町並みの形態は往時の状態をよく伝えています。歴史的景観も部分的に確認でき、また、参勤交代の際の宿所であつた御本陣跡・下ノ茶屋跡や、備前街道との分岐点に立つ道標などが当時を偲ばせています。



智頭宿「石谷家住宅」  
国登録有形文化財、  
智頭町指定文化財

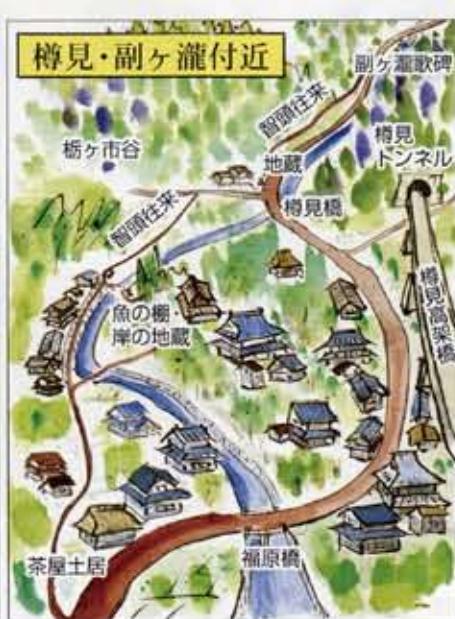


## 五 魚ノ棚・副ケ瀧付近 樽見地区

### 【樽見】

本谷川沿いの、狭い山際に美しく積まれた石垣の上に並んだ民家があります。その下の道を通つて、奥の家の前に行くと、「因府上京海道記」に「此處ニ絶景アリ、紅葉シゲリテ、石ノクミ(組)ヨウ、水ノ流ルカタチ、ツ橋カカリタル体、作りタル庭ノ如シ」と絶賛されている、俗に「魚ノ棚」と呼ぶ所があります。一百七十年経つ今も、その風景は変わっていません。

林道入り口の樽見橋袂に至ると、国道との分岐点に祀られている地蔵さんの上辺りから副ケ瀧辺りまで、往来の古道が二百疋ほど、当時の状態をよく留めています。



## 六 志戸坂峠付近 駒帰地内

### 【志戸坂峠】

この峠は古代「鹿跡御坂」、元禄時代の美作国絵図では「志戸坂峠」と記載され、因幡では「人見峠」あるいは「人坂峠」、俗に駒帰坂と呼ばれたようです。「時範記」によると、遠く平安時代の承徳三年(1099)二月十五日、坂根を早朝出発した因幡國の守平時範が故事に従い「境迎え」の儀式を行つた峠です。

戦乱の中世には、山名・赤松・尼子・毛利・草刈や、また羽柴秀吉らの軍勢が往来したことでしょう。徳川時代は特に参勤交代で、鳥取藩主二行の行列が度々通りました。また、一般の旅人はもちろん、山陰山陽の物資・商人の行き交う峠であります。

【坂根】

岡山県英田郡西粟倉村坂根、ここは峠の麓に位置した交通の要所で、物資輸送の問屋も置かれた宿場でした。現在も上り坂沿いに軒を並べた、峠の宿場らしい名残りが見られます。集落の外れから細い谷になり、峠道は急な登り坂になり、三十三曲がりともいわれました。

明治年間に大改修され、道幅は広くなり、側壁はきれいな石垣が積まれていますが、それでも昔は大変な難所であつたに違いありません。「因幡誌」は「難所ニテ、大雪ニ牛馬通ラズ」と伝え、作州側では「因幡通いすりや、吹雪が降りかかる。帰りや妻子が泣きかかる」と唄われました。



「けふ(今日)いなばそふの瀧山こえるなり都にかけよ  
夢のうきはし」

